

令和2年9月24日 教育委員会会議録

- 1 日 時 令和2年9月24日(木) 午後3時00分～午後3時26分
- 2 場 所 10階 委員会開催室
- 3 出席委員 荒澤賢雄教育長、無着道子委員、白鳥樹一郎委員、中村篤委員
熊坂香織委員
- 4 出席者 伊藤尚之教育部長、奥山泰子管理課長(兼)学校給食用炊飯施設建設推進室長、
伊藤利彦管理課施設整備室長、田中克学校教育課長、
新關昭弘社会教育青少年課長、大山敬弘スポーツ保健課長、
小関仁美少年自然の家所長、横倉明史図書館長、
増川悦裕学校給食センター所長、浅川かおり学校給食センター栄養管理室長
浅井幹太商業高等学校事務長、事務局(管理課職員)

会議次第

- 1 開 会
- 2 前回会議録承認
- 3 報告事項
 - (1) 令和2年7月豪雨への対応について
 - (2) (仮称)学校給食用炊飯施設建設業務の進捗状況について
- 4 そ の 他
- 5 日 程 等
 - (1) 教育委員会の日程について
 - (2) 教育委員会主催(共催)の行事予定について
- 6 閉 会

会議録

- 1 開 会 教育長
- 2 前回会議録承認
- 3 報告事項

教育長・・・本日は議案がないため、報告事項のみとなる。それでは、報告事項(1)「令和2年7月豪雨への対応について」事務局から説明をお願いします。

<管理課長説明>

教育長…ただ今の説明についてご意見・ご質問はないか。

委員…市内51か所の避難所を開設したということだが、以前読んだ本に、過去5年間に避難所生活を経験した方を対象としたアンケート調査があり、その中には避難生活で一番困ったことはトイレが混雑することであるという結果があった。今後多くの避難者が利用する際に、体育館内のトイレの他に、校舎内のトイレも開放する考えはあるのか。

管理課長…通常は体育館やグラウンドを避難所として指定しているが、今回のコロナウイルス感染症対策として、校舎内も利用できるように学校に対して通知をし、開放の協力依頼をしている。また避難者で発熱した人がいる場合は、他の避難者と動線を分けるため、校舎の中の教室の一部を活用して、避難者が密集しないような対応を想定している。今後に向けて感染症対策だけでなく、夏場や冬場の避難場所についても、学校の校舎を利用できるよう協力依頼している。

委員…7月28日は通常より早い下校をした学校もあり、その場合は保護者の迎えが必要であった。本沢小では、学童保育が校内にあるため安全であると判断し、児童を学童保育に待機させて、保護者に迎えを依頼した。しかし学童保育の職員も自分の子どもを迎えに行く必要が生じ、学童保育でも長く預かることができない状況であった。結果、校長に相談し、保護者あて学童保育に可能な限り早く迎えに来てもらうよう一斉メールで依頼した上で、保護者が迎えに来るまで校内で預かって対応したと聞いている。

今後、必ずしも学童保育で預かることができるとは限らない場合を想定し、臨機応変に学校と学童保育が連携して対応することをお願いしたい。

管理課長…市より、各学校において防災マニュアルを作成するよう依頼しており、今年度も対応済みである。学校から保護者への児童生徒の引き渡しの際に、保護者がすぐに迎えに行けないことにより、児童生徒を保護者に帰すことが困難な場合が想定される。その場合は児童生徒を校舎に待機させる等、状況に合わせて各学校と学童保育、保護者が連携する必要があるため、訓練等を通して確認していきたい。

教育長…他に、意見・質問等はあるか。

<各委員より「なし」の声>

教育長…次に(2)「(仮称)学校給食用炊飯施設建設事業の進捗状況について」事務局より説明をお願いします。

<学校給食用炊飯施設建設推進室長より資料に基づき説明>

教育長…ただ今の説明について、意見・質問等はあるか。

<各委員より「なし」の声>

4 その他

教育長…委員よりその他意見・質問等はないか。

委員…コロナ対応における長期休暇によって、子どもの体力が落ちている、怪我をしやすいなどの話題があり、心配している。各学校がそれぞれ工夫して運動会を行っていると聞いているが、改めて体育の授業や体力づくり、怪我防止の配慮をどのように行っているのか、現状を聞きたい。

スポーツ保健課長…学校再開後、保健体育の授業に限らず、各学校が様々な授業について苦労しながら、工夫を凝らし授業に取り組んでいる状況である。

各学校に対しては、基本的な感染予防対策をしながら、怪我防止と夏場の熱中症対策に取り組むよう通知している。具体的には、活動をできるだけ野外で行うことや、更衣室を使用しない等、三密を避けつつ運動量を確保することを呼びかけている。また活動当初は、長期的に体を動かさなかった子ども達の体に負荷がかからないようにするため、個人種目から始める等、運動の強度が急激に上がらないように計画的な授業の実施を依頼している。

その他にも、今年度は7月から11月にかけて健康診断を行っており、家庭と連携しながら健康観察を徹底することを周知している。またこの健康診断との兼ね合いにより、部活動についてもすぐに入部させず、遅らせるなどの配慮をした学校もあったと聞いている。

これからは、球技などの集団競技も多くなっていくと思われるが、引き続き運動負荷や怪我予防に配慮しながら進めていくことになる。なお、今年度は中止となっているが、来年度以降の体力テストの結果等も踏まえ、今後国全体の課題としてコロナ禍における影響等についても、分析や議論がされていくものと考えているが、それらについても注視していきたい。

委員…各学校が様々な工夫をして授業に努めていることが分かった。一日も早く普通に運動ができるよう願いながらも、しばらくは『With コロナ』で頑張っていかなければいけないと思われる。

<各委員より「なし」の声>

5 日程等

<管理課長から、資料に基づき説明>

6 閉会 教育長